

株式会社群馬銀行
2026年3月期第3四半期
スモールミーティング

2026年2月5日
専務取締役 内堀剛夫



～私たちは「つなぐ」力で地域の未来をつむぎます～

(東証プライム：8334)



群馬銀行レポート2025
GUNMABANKREPORT



本日のサマリー

コア業務純益(投信解約損益除き)は、資金利益の増加を主因に前年同期比+120億円(計画進捗率77.2%)。四半期純利益は、同+129億円の447億円(年間計画550億円に対する進捗率は81.4%)。

<損益>		25/12期	24/12期比 増減額	年間計画対比 進捗率	
資金利益 (連結)	:	776億円	+181億円 うち投信解約損益+60億	77.6% 投信解約損益76.3%	… 貸出金の順調な伸び(前年同期比+5.4%) 国内貸出金利回り上昇(同+26bpの1.22%)
非金利業務利益 (連結)	:	214億円	+32億円	74.0%	… 法人役務・預かり金融資産は第4四半期で 積み上げを図る。
経費 (連結)	:	448億円	+33億円	74.2%	… 戰略的投資を中心に入件費+14億円(単体)、 物件費+12億円(単体)。OHRは継続して低下。
与信費用 (単体)	:	18億円	+4億円	67.6%	… 足元の倒産(法的破綻/弁護士介入/廃業)件数は高止まり。 引き続き動向に注視。

3Q
業績

<主要勘定 (単体)>		25/12末	24/12末比増減率	
預金	:	8兆6,174億円	+2.8%	… 法人預金(前年同月末比+3.8%) 個人預金(同+0.1%)
貸出金	:	7兆1,585億円	+5.4%	… XB(前年同月末比+22.7%) SF(同+29.4%) NY(同+25.6%)
有価証券評価損益	:	229億円 (評価益)	+391億円 (25/3末比増加額)	… 国内債券評価損益▲639億円(25年3月末比▲74億円)

経営
統合

- ✓ 3月の最終合意に向けて、現在大詰め協議中。
代表取締役や商号、株式交換比率といった概要の公表に加え、新FGの計数計画を策定中。
- ✓ 統合に向けて「プレアクション180」を推進中。
さまざまな交流を通じて意識・文化の融合を図り、統合シナジー発揮に向けた取組みを加速。

損益状況

親会社株主に帰属する四半期純利益は、24/12期比+129億円の447億円。

年間計画（550億円）に対する進捗率は81.4%と順調に推移。

決算概要

<連結>	(単位: 億円)					<単体>	(単位: 億円)				
	3Q 25/12期	24/12期比	年間計画 26/3期	計画 進捗率	3Q 25/12期	24/12期比	年間計画 26/3期	計画 進捗率			
コア業務粗利益	991	214	1,290	76.8%	コア業務粗利益	931	205	1,199	77.6%		
資金利益	776	181	1,000	77.6%	資金利益	781	183	1,008	77.5%		
投信解約損益	33	60	27	124.7%	投信解約損益	33	60	27	124.7%		
投信解約損益除き資金利益	743	121	973	76.3%	投信解約損益除き資金利益	748	122	981	76.2%		
非金利業務利益	214	32	290	74.0%	非金利業務利益	149	22	191	78.2%		
経費	448	33	603	74.2%	経費	430	31	577	74.5%		
コア業務純益	543	180	687	79.1%	コア業務純益	500	173	622	80.5%		
投信解約損益除き	509	120	660	77.2%	投信解約損益除き	467	113	595	78.5%		
経常利益	651	200	780	83.4%	有価証券関係損益	107	25	114	94.0%		
親会社株主に帰属する四半期純利益	447	129	550	81.4%	与信費用	18	4	28	67.6%		
OHR (投信解約損益除き)	46.7%	▲4.8%	47.7%	—	その他	18	▲4	12	155.1%		
ROE (年率換算)	10.2%	2.8%	9.5%	—	経常利益	607	190	720	84.4%		
					四半期純利益	418	127	510	82.1%		

資金利益分析 (単体)



預貸金の状況

法人預金は貸出シェアに見合った預金取引等を推進。貸出金は順調に増加、利回りも上昇基調。

預金残高内訳

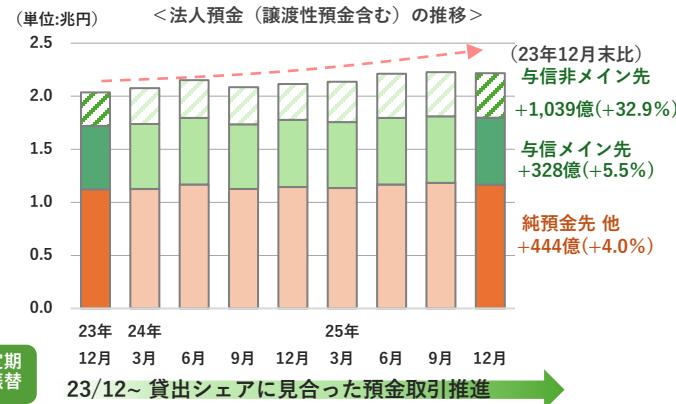
	(単位: 億円)		
	25/12末	25/3末比 増減額(増減率)	24/12末比 増減額(増減率)
預金等	87,883	1,159 (1.3%)	1,577 (1.8%)
預金	86,174	1,544 (1.8%)	2,420 (2.8%)
うち個人預金	58,328	978 (1.7%)	88 (0.1%)
うち法人預金	21,511	754 (3.6%)	792 (3.8%)
うち公金預金	4,298	248 (6.1%)	1,411 (48.9%)
譲渡性預金	1,708	▲ 385 (▲18.4%)	▲ 843 (▲33.0%)

大口定期
への振替

貸出金残高状況

	(単位: 億円)			貸出先別RORA ()は24/12期比
	25/12末	25/3末比 増減額(増減率)	24/12末比 増減額(増減率)	
貸出金	71,585	3,134 (4.5%)	3,681 (5.4%)	— —
大企業	11,145	1,046 (10.3%)	1,096 (10.9%)	1.57% (+0.47pt)
中堅・中小企業	27,311	393 (1.4%)	595 (2.2%)	1.10% (+0.30pt)
個人	25,602	668 (2.6%)	906 (3.6%)	— —
うち住宅ローン	15,219	596 (4.0%)	734 (5.0%)	1.81% (+0.72pt)
うちアパートローン	6,988	35 (0.5%)	106 (1.5%)	0.91% (+0.25pt)
うち無担保消費者ローン	849	55 (6.9%)	75 (9.7%)	2.21% (+0.41pt)
クロスボーダー	2,626	412 (18.6%)	486 (22.7%)	2.98% (+1.26pt)
ストラクチャードファイナンス	2,158	436 (25.3%)	491 (29.4%)	1.34% (+0.52pt)
海外店	1,702	172 (11.3%)	347 (25.6%)	1.67% (+0.36pt)
その他 (公共等)	1,039	4 (0.4%)	▲ 242 (▲18.9%)	— —

法人預金の取組み強化



<各種取組 >	
与信先 (メイン先+非メイン先) 貸出シェアに見合う 預金取引の推進	
純預金先 非対面チャネル(法人IB) で決済メイン化促進	
営業店 預金仕切レートを引き上げ 預金獲得にインセンティブを付与	

利回り状況

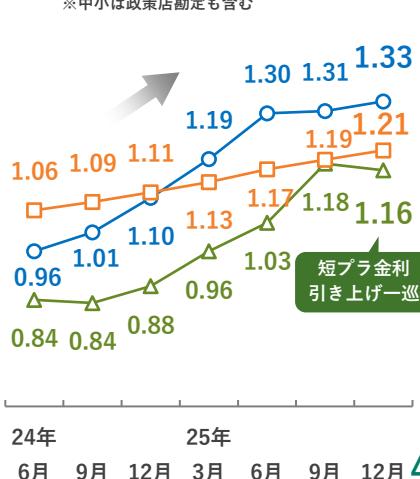
<新規実行金利: % >

※中小は長期資金の利回り



<国内貸出金利回り: % >

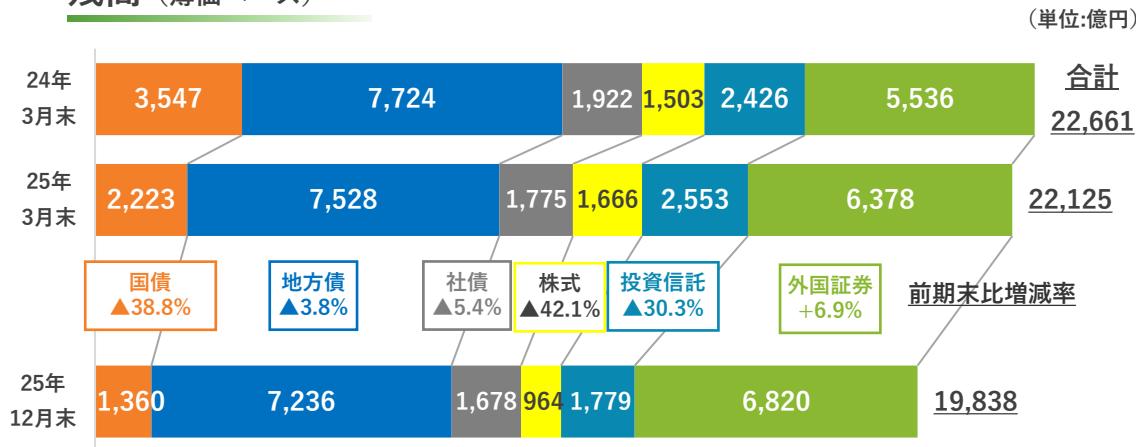
※中小は政策店勘定も含む



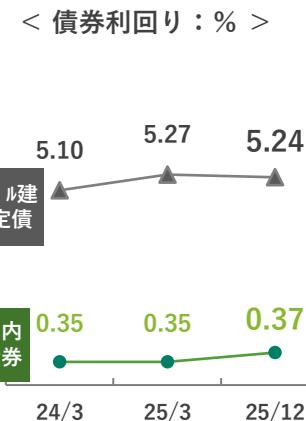
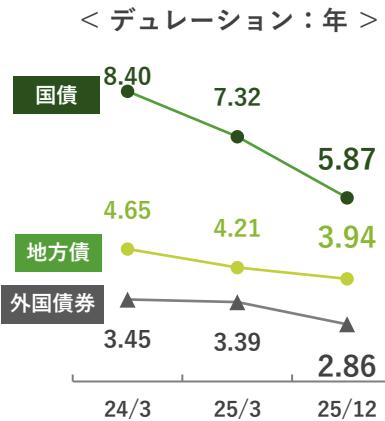
有価証券の状況

第1四半期の金利低下局面を捉えて円債処理を実施。金利動向を見極めつつ国債新規購入と低収益資産の削減を検討。

残高（簿価ベース）



各種指標



評価損益 (BS)

（単位: 億円）

	25/3末	25/12末	25/3末比
その他有価証券	▲161	229	391
国内債券	▲565	▲639	▲74
(国債)	▲174	▲115	59
(地方債)	▲256	▲303	▲47
(RMBS)	▲128	▲213	▲85
その他	403	868	465
外国証券	54	128	74
投資信託他	▲166	▲63	103
株式	515	802	287
(政策投資)	590	813	222
(純投資)	▲75	▲10	64

関係損益 (PL)

（単位: 億円）

	24/12期	25/12期	24/12期比
合計 (①+②)	54	140	86
その他有価証券①	81	107	25
債券関係損益	▲111	▲47	63
うち売却損	▲107	▲71	36
(国債)	▲82	▲71	11
(外国証券)	▲25	—	25
株式等関係損益	192	154	▲38
うち売却損益	193	154	▲38
(政策投資)	35	88	52
(純投資)	157	66	▲91
投信解約損益 ②	▲26	33	60

非金利業務利益／経費／与信費用

法人役務・預かり金融資産は第4四半期で積み上げ。OHRは継続して低下、与信費用も低位安定。

非金利業務利益

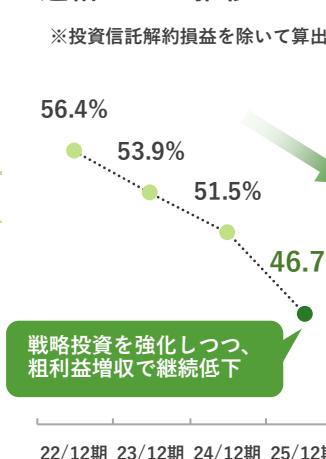
連結非金利業務利益	25/12期	24/12期比	(単位: 億円)		
			年間計画		進捗率
			26/3期	進捗率	
法人役務収入	214.8	32.6	290	74%	
うち シンジケートローン	72.1	10.5	108	66%	
うち ビジネスマッチング	15.6	6.6	18	85%	
うち SDGs関連	7.9	1.6	12	64%	
うち デリバティブ	9.4	4.6	13	72%	
うち ぐんぎんコンサル	12.3	▲ 7.8	22	55%	
預かり金融資産等収入	67.9	7.7	102	66%	
うち 投信取扱手数料	14.4	▲ 2.6	20	70%	
うち 保険販売手数料	20.9	2.2	32	63%	
うち ぐんぎん証券	28.8	7.2	43	66%	
その他	74.6	14.3	80	93%	
うち 団信配当金	18.6	6.6	18	102%	
うち 基盤(内国為替等)	63.4	1.6	84	75%	

経 費

＜経費（連結）の内訳＞

連結経費	25/12期	24/12期比	(単位: 億円)	
			主な増加要因	主な減少要因
人件費	448	+33	+33	-
物件費	233	+14	+14	ペア、株価連動一時金等
税 金	169	+12	+12	システム関係、広告費等
子会社	27	+3	+3	外形標準等
(連結相殺)	33	+5	+5	G証券、Gコンサル等
△ 15	▲ 3	-	-	-

＜連結OHRの推移＞

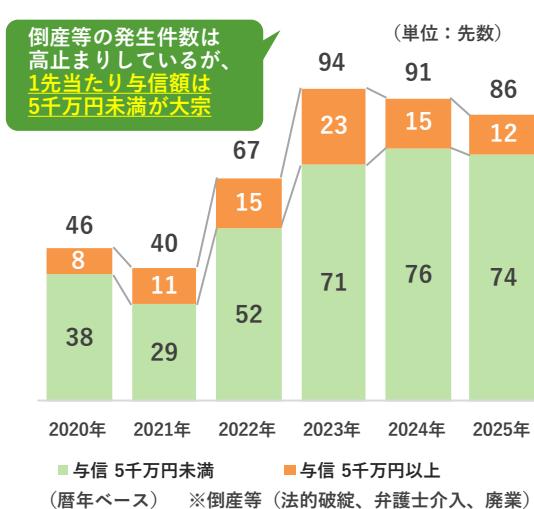


与信費用

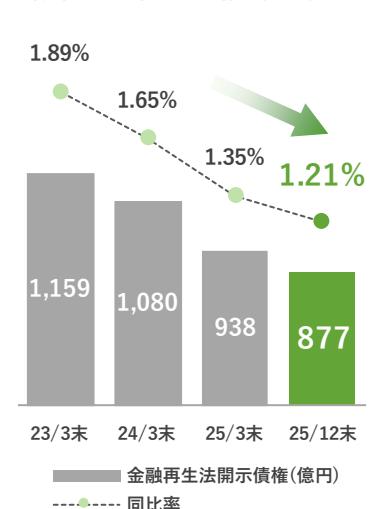
＜与信費用（単体）の内訳＞

与信費用	23/3	24/3	25/3	25/12	(単位: 億円)	
					26/3 (計画)	
一般貸倒引当金繰入	▲18	▲15	▲11	▲2	▲3	
実積率変動	▲8	▲1	▲2	0	1	
DCF	▲7	▲9	▲3	▲0	2	
その他	▲3	▲5	▲6	▲2	▲6	
不良債権処理額	29	21	37	21	31	
ランクダウン	72	61	63	33	47	
回収・ランクアップ [†] 等	▲45	▲42	▲30	▲20	▲19	
その他	2	2	4	8	3	
償却債権取立益(▲)	0	0	2	0	0	

＜群馬県内取引先の倒産等の発生状況＞



＜金融再生法開示債権（連結）＞



株主還元

1株当たり配当金予想は前期比15円増配の年間60円※（中間30円／期末30円）。自己株式60億円取得済み（25年7月～9月）。

※期初（2025年5月）公表の年間50円予想を同年9月に年間60円予想へと上方修正（期初公表比10円増配）。

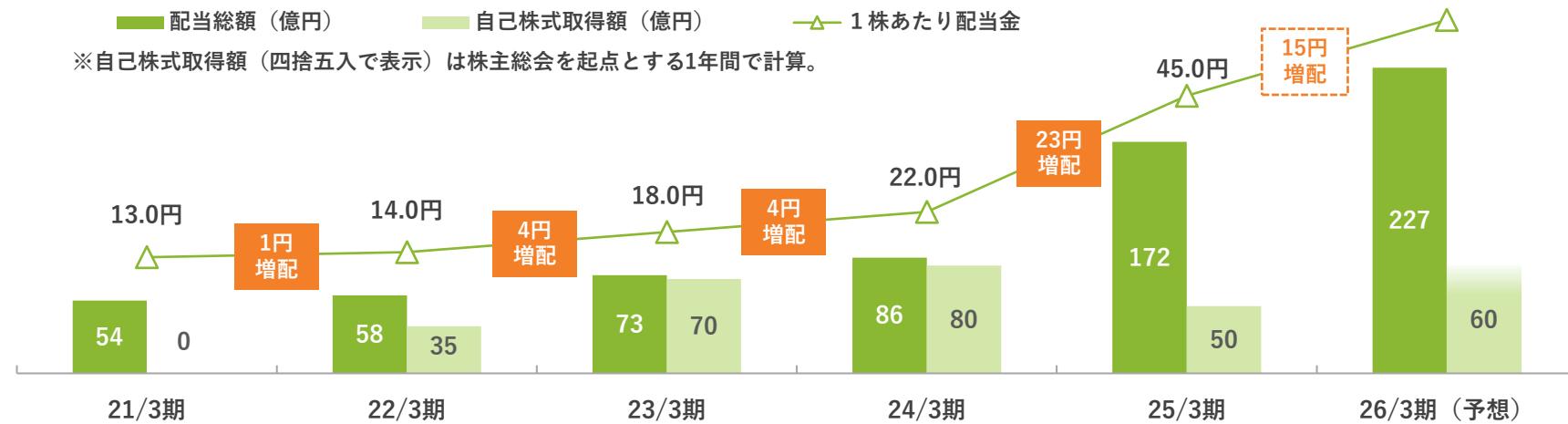
株主還元方針

配当につきましては、配当の維持または増配を行う**累進配当**を基本とします。配当性向は親会社株主に帰属する当期純利益の**40%を目標**とし、利益成長を通じて増配を実現していきます。また、自己株式の取得は、資本水準や資本効率、成長投資機会や市場動向を踏まえて機動的に実施します。

株主還元の実績

1株当たり配当金は
5年間で4.6倍

60.0円



※自己株式取得額（四捨五入で表示）は株主総会を起点とする1年間で計算。

期間	株主還元額	総還元率	配当性向	還元方針	対象利益
21/3期	54億円	46.8%	40.4%	総還元率40%目標	単体ベース
22/3期	93億円	39.9%	22.1%		
23/3期	143億円	51.4%	26.4%		
24/3期	166億円	53.6%	28.1%		
25/3期	222億円	50.7%	39.5%	配当性向40%目標（累進配当）	連結ベース
26/3期 (予想)	—	(52.2%見込)	(41.5%見込)		

政策保有株式の縮減

5年間（22/3末～27/3末）で上場政策保有株式簿価の50%（▲200億円）の縮減を実施中。25/12末の進捗率は83%（▲167億円）。

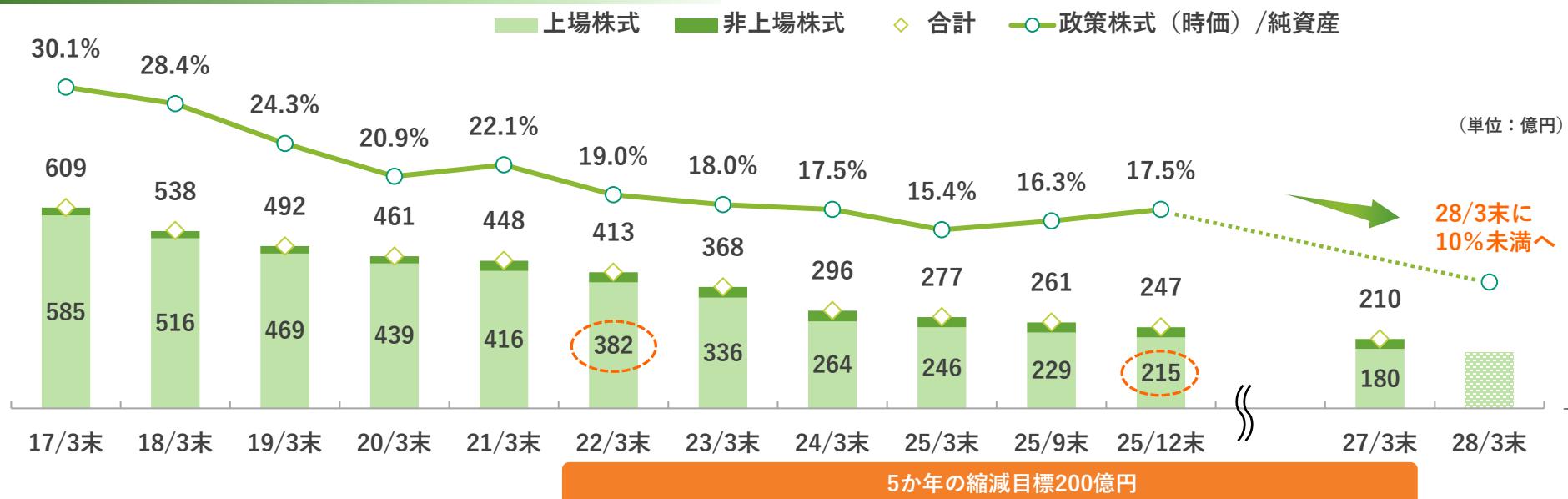
政策保有に関する方針・検証

※合意ベースでは97%の進捗

取引先との取引関係の維持・強化、地域経済の活性化等、その保有意義が認められる場合において保有し、**基本的には縮減していく方針**。個別の政策保有株式について、中長期的な取引関係やRORA（※）等を用いて経済合理性を精査し総合的に保有の適否を検証。

（※）RORA = $\{ (\text{資金利益} + \text{非金利業務利益} - \text{経費} - \text{信用コスト} + \text{受取配当金}) \times (1 - 30.5\%) \} \div \text{貸出金・株式のリスクアセット}$

政策保有株式（簿価）と純資産割合（時価ベース）の推移

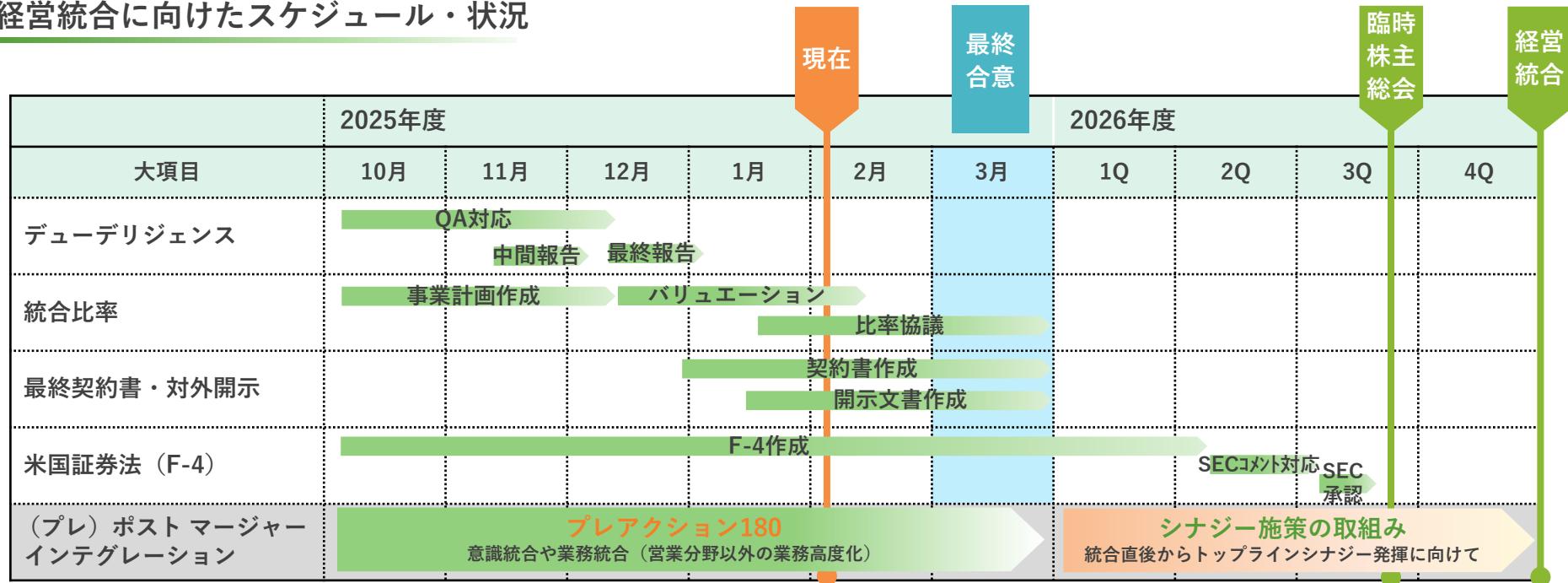


政策保有株式（上場）の推移

	17/3末	18/3末	19/3末	20/3末	21/3末	22/3末	23/3末	24/3末	25/3末	25/9末	25/12末
銘柄数	116先	113先	100先	101先	90先	86先	77先	69先	64先	61先	56先

経営統合に関する進捗状況

経営統合に向けたスケジュール・状況



最終合意について

【公表予定の項目（検討中の項目含む）】

代表取締役・商号・ロゴマークなどの
基本情報

株式交換比率・本部組織の概要などの
統合後を形づくる情報

理念・新FGの計数計画などの
統合後のめざす姿の情報

会計上の取得企業・会計監査人・
株主名簿管理人などの
その他情報

(プレ) ポスト・マージャー・インテグレーション

プレアクション180
【意識統合】
融和イベントや共同研修
【業務統合】
生成AIの共同研究の検討開始



シナジー施策の取組み

- ノウハウの共有・共通化
- 共通商品
- チャネルの相互活用
- 顧客紹介 …等

統合直後から
シナジーを
最大限発揮

本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部又は一部は予告なく修正又は変更されることがあります。

本資料には将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化等により異なる可能性があることにご留意下さい。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社群馬銀行 総合企画部 (IR担当)

TEL : 027-254-7051・7053 E-mail : gbir@gunmabank.co.jp